

~ヤマケイ通信~

- いつもお世話になり、誠にありがとうございます。
- 9月に入り、連日続いていた猛暑もようやく和らいできましたが、今後も気温が30°Cを超える地域が多くあります。もうしばらくは残暑が続きそうですね。
- 先日、日本列島に大型の台風が上陸し、各地に甚大な被害をもたらしました。
- 今の時期は非常に台風が発生しやすいため、引き続き十分ご注意ください。
- また、今後のためにもお住まいの地域の水害リスクを知り、しっかりと把握しておきましょう。



猛威をふるう自然災害

- 日本では台風や集中豪雨による河川の氾濫などにより、毎年のように水害が発生しています。
- 住宅や資産、公共施設などに被害を与え、時には人命を奪う水害が起こっています。
- 今回の非常に強い台風21号で大雨や暴風、記録的な高潮で各地に大きな被害をもたらしました。
- こうした水害による被害を防ぐために国や地方自治体など行政としても河川改修や治水施設の整備など様々な取組を行っていますが、全ての施設が完成するまでには莫大な費用と長い年月が必要になります。
- いつ起るかわからない台風や大雨、それによる水害を最小限に抑えるためには、自分自身や家族を守る取組だけではなく、地域コミュニティなどによる地域全体で守る取組も重要になります。
- また、水害時に自分の住んでいる地域がどれくらいの被害が発生する可能性があるか、避難場所や避難時の持ち出し品の準備、避難経路などを自身で把握しておくことが非常に大切です。

「水害ハザードマップ」で地域の水害リスクを知る

- 水害を最小限に抑えるために自分が住む家やその周辺にどのような水害のリスクがあるかを知ることが大切です。そのために活用したいのが、自治体が提供する「水害ハザードマップ」です。
- 水害ハザードマップは、想定される最大規模の降雨や高潮による浸水範囲・深さに加え、避難所などの避難確保を図るために必要な事項を地図上に記載したものです。
- 水害ハザードマップを見ることで、自宅や自宅周辺にどの程度の浸水の危険があるかを知ることが出来ますので、その情報を踏まえて自宅でどのような備えが必要か考えましょう。
- 激しい集中豪雨などの際は、排水溝などから雨水が溢れて周辺に浸水を引き起こしたり、地下室や地下駐車場が水没したりすることがあります。
- 被害を受けにくい高台でも、その地域の排水設備の機能を上回る降水量には対応できなくなります。
- 今回のような大きな自然災害の中で行動するには非常に困難です。
- いつ災害が起こっても落ち着いて対応出来るように日頃からの備えがとても大切です。

ご購読ありがとうございました。次回号をお楽しみに(^o^)



有限会社 山本圭商店

- 各種包装機用超硬カッター、セラミック加工、テフロン加工、各種表面処理加工、包装資材全般販売
- 〒537-0012 大阪市東成区大今里3-11-24 TEL 06-6971-1347 FAX 06-6971-2201 www.tyoukou.jp